

叱らない人たち

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、チームや組織を管理する場合、最近の傾向としては、「叱る」よりも「ほめる」「感謝する」が重要と言われます。私も同感であります。しかし、23年前私が入社した頃のコンニックスは、「叱らない」会社でした。遅刻をしても、電話を取らなくても、仕事中に無駄口ばかりしていても、…誰も叱りません。会議で決まった事は何もやらずに忘れられていく。約束なんて誰も守らなくても何も気にしない。理由があれば約束なんて守る必要がない。…この会社は数年で倒産すると本気で思いました。



代表取締役社長 吉田治伸

当時を思うと会社や管理職が「良いこと」「悪いこと」を明確にしていなかった、と思います。加えて、「悪いこと」と思われることをしても管理職が(本人もしているからなのか)注意をせず、見て見ぬふりをするため「悪いこと」が「悪いこと」でなくなっていく状態でありました。

KYBの偽装問題のようにコンプライアンスの不徹底は会社存続の危機問題になっています。コンプライアンスを徹底する第一歩は、日頃の「笑顔、あいさつ、報連相に身だしなみ」の徹底、そして「クレド」の実践だと思っています。

「悪いこと」をしたら「叱る」、そして「直す」。実はその問題が起きる前の「コミュニケーション」、よろしく願います。

良い季節になってまいりました。充実した日々をお過ごし下さい。